

素敵な卒業式でした



先週の11日(金)は、太宰府西中学校第37回卒業証書授与式でした。今週からは3年生の登校がなく、寂しい気持ちです。しかし、中学校を卒業し、これからの飛躍に期待します。太宰府西中学校においても、新たなスタートを切りたいと思います。

先日の卒業証書授与式では、生徒会長の答辞がありました。3年間の思いを表現した答辞は聞く人全てを感動に巻き込みました。とても素晴らしい内容でした。3年生がこれまでの3年間、どれだけ困難を乗り越えて前向きに頑張ってきたのかを決して忘れることがないほど、心に響く答辞でした。

ここでは、答辞の後半部分を紹介します。

あっという間に過ぎていった中学校3年間。たくさん悩み、立ち止まり、うまくいかない自分への情けなさを感じることもありました。しかし、それに負けないほどたくさん笑った日々でもありました。そして、どの場面にも大好きな仲間の笑顔があります。途中でしばらく会えなくなり、マスクごとに会話をしなければならない日々でも笑って吹き飛ばし、前向きな気持ちになれたのは、みんなのおかげです。みんなの底知れぬ明るさには何度も救われました。そして、176人で今日という日を迎えられたことを本当に嬉しく思います。

今日から私たちはそれぞれの道を歩み出します。式歌の歌詞にもあるように、これから人生という名の迷路に迷い込むことがあるかもしれません。しかし、私たちは知っています。どんな困難に遭遇しても、信じ合える仲間がいる喜びを。このことを学んだからこそ、私たちはもっと強く、優しくなれるはずです。人生で待ち受ける困難に負けることなく、力強く生きていくことを約束します。

最後になりましたが、私たちに3年間、携わってくださった全ての方々に感謝申し上げ、答辞とさせていただきます。

ありがとうございました。

